

事業報告書

自平成 30 年 4 月 1 日～至平成 31 年 3 月 31 日

1) 法人の概要

- * 名称 学校法人敬愛学園（昭和 42 年 12 月 13 日設立）
- * 本部所在地 大阪府吹田市桃山台 2 丁目 1 番 1 号 電話 06-6871-0021 Fax 06-6871-0024
- * 設置する学校
 - ・千里敬愛幼稚園
吹田市桃山台 2 丁目 1 番 1 号 電話 06-6871-0021 Fax 06-6871-0024
 - ・山田敬愛幼稚園
吹田市山田西 2 丁目 5 番 3 号 電話 06-6875-1655 Fax 06-6875-1875
 - ・岸部敬愛幼稚園
吹田市岸部北 1 丁目 15 番 8 号 電話 06-6387-9836 Fax 06-6387-2333
- * 理事 理事長 小谷澄信
理事 6 名、監事 2 名、定例理事会年 2 回開催、臨時理事会年 3 回開催

2) 岸部敬愛幼稚園の概要（平成 30 年 5 月 1 日現在）

- * 所在地 吹田市岸部北 1 丁目 15 番 8 号
電話 06-6387-9836 Fax 06-6387-2333
ホームページ URL <http://www.keiai-gakuen.jp/>
- * 定員 250 名（5 歳児 85 名 3 学級、4 歳児 85 名 3 学級、3 歳児 80 名 3 学級）
- * 実員 263 名（5 歳児 93 名 3 学級、4 歳児 88 名 3 学級、3 歳児 82 名 3 学級）
- * 教職員状況 園長 1 名、教諭 18 名、職員 6 名

3) 事業の概要

* 保育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心をもった子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友達と仲よくあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

* 保育時間

月火木金曜日 午前 8 時 30 分～午後 2 時
水曜日 午前 8 時 30 分～午後 1 時
土曜日は完全休園

* 保育料及び諸経費

保育料 年額 264,000 円（22,000 円／月）各学年共通
施設設備費 0 円
バス会費 年額 42,000 円（3,500 円／月）
保護者会費 年額 18,000 円（1,500 円／月）

＊入園時の費用

入園料 3歳児 100,000円、4歳児 90,000円、5歳児 50,000円
施設設備費 0円

＊預かり保育

月～金曜日 早朝なし
保育終了後 午後2時～午後5時
長期休業中の預かり保育も一部実施（夏・冬・春）

＊行事の実施状況

4月 始業式、入園式、個人懇談会、花まつり
5月 玉ねぎ掘り、年少児親子遠足、保育参観（全学年）、創立記念日、年中児親子遠足、お誕生日会
6月 保護者会春レク、土曜参観、プール開き、歯科検診【大阪北部地震により行事変更多数】
7月 内科検診、交通安全教室、お誕生日会、宿泊保育、終業式、プール開放
8月 夏期保育
9月 始業式、運動会、お誕生日会
10月 いもほり、年中少児遠足、保育参観（年中）、新幹線遠足、一日動物園、中華料理バイキング
11月 のびのび造形、壁面写真、お誕生日会、保護者会秋レク
12月 願成寺参拝、もちつき大会、新こころの講演会、個人懇談会、卒園写真、終業式
1月 始業式、雪あそび、お誕生日会、全大阪幼少年美術展出品
2月 保育発表会、御礼参拝
3月 お誕生日会、スポーツ大会、修了式、親子パーティー、終業式
＊上記以外にも、野菜収穫、合同仏参、避難訓練、姉妹園交流会を実施

＊子育て支援事業

- ◎園庭開放 在園児対象に実施。降園後の園庭を開放。
毎週金曜日午後2時30分～4時を地域の未就園児に開放。
- ◎未就園児クラス
「敬愛なかよし広場」を隔週実施。2歳児又は3歳児混合クラス。
登録者25名。担当教諭は2名。
- ◎事業開放 一日動物園、もちつき大会は地域親子に開放。

＊教員研修（園内研修のみ）

- ◎造形 毎月講師を招いて研究保育並びに研修会を実施
- ◎音楽（器楽） 数回程度講師を招いて園児指導及び研修会を実施
- ◎音楽（声楽） 数回程度講師を招いて園児指導及び研修会を実施
- ◎めざましあそび 数回程度研修会に赴き受講
- ◎ピアノ 数回程度教員相互に研修会を実施

＊危機管理委員会を設置し、姉妹園職員と共に園児の遊び中の事故等の情報交換と危機回避を考察。

特に平成30年度は、6月に大阪府北部地震が発生したことにより、大地震発生時の危機管理体制について緊急ミーティングを設けて話し合い、時間をかけつつも短時間でマニュアルを再整備することができた。その後も7月には大雨、8月には酷暑、9月には台風直撃と自然災害に翻弄され、行事変更や臨時休園も相次ぐ中、職員間での自然災害に対する危機意識は自然と深まっていった。